



Your Dreams, Our Challenge

ウレタン塗膜防水システム

ザラセーナ工法[®]

独立行政法人 都市再生機構

—保全工事共通仕様書（令和5年版）—

2024年9月版

脱気絶縁複合防水工事

環境配慮型

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

▶ 脱気絶縁複合防水ウレタンゴム系 1回目

❖ 防水工法(平場部) サラセーヌUR-AV-EZ54工法

工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	サラセーヌ RW ボンド	0.25
2	サラセーヌ AV シート	—
3	サラセーヌ EZ 目止め	1.5
4	サラセーヌ EZ	2.0
5	サラセーヌ EZ	1.9
6	PJ 層間プライマー	0.1
7	FS トップ (2度塗り)	0.5+0.5

❖ 防水工法(庇、架台天端及び立上り部等) サラセーヌUR-AV-EZ54工法

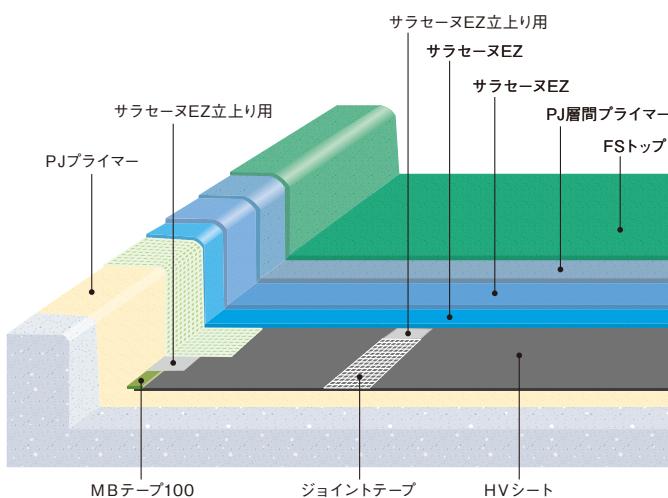
工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	PJ プライマー	0.2
2	サラセーヌEZ立上り用	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1m
4	サラセーヌEZ立上り用	1.3
5	サラセーヌEZ立上り用	1.2
6	PJ 層間プライマー	0.1
7	FS トップ (2度塗り)	0.5+0.5

❖ 防水工法(平場部) サラセーヌUR-HV-EZ30工法

工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	PJ プライマー	0.2
2	HV シート	1.06 m
2	ジョイントテープ／ サラセーヌEZ立上り用	1.06 m
2	端末処理用テープ MB テープ 100	—
3	サラセーヌ EZ	2.0
4	サラセーヌ EZ	1.9
5	PJ 層間プライマー	0.1
6	FS トップ (2度塗り)	0.5+0.5

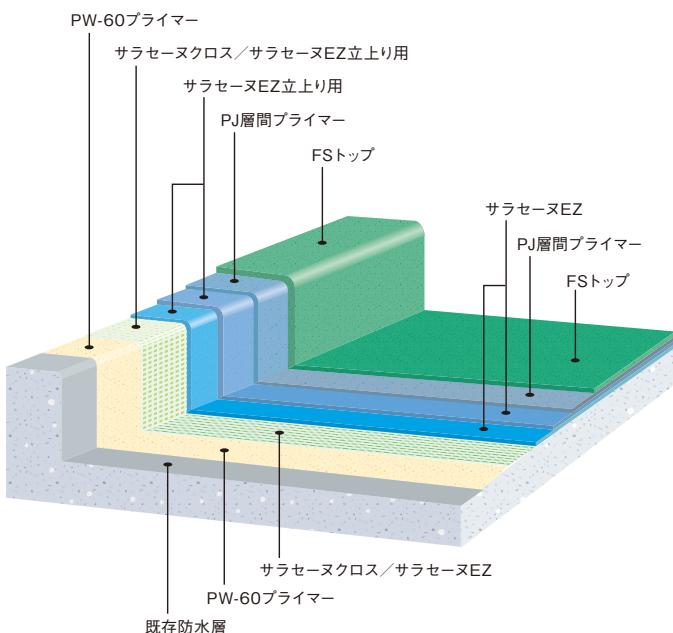
❖ 防水工法(庇、架台天端及び立上り部等) サラセーヌUR-HV-EZ30工法

工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	PJ プライマー	0.2
2	サラセーヌEZ立上り用	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1m
4	サラセーヌEZ立上り用	1.3
5	サラセーヌEZ立上り用	1.2
6	PJ 層間プライマー	0.1
7	FS トップ (2度塗り)	0.5+0.5



▶ 脱気絶縁複合防水ウレタンゴム系 2回目以降

❖ 防水工法(平場部) サラセーヌUR-NEZ39工法



※ PJ層間プライマーも使用可能。(使用量0.2kg/m²)

❖ 防水工法(庇、架台天端及び立上り部等) サラセーヌUR-NEZ39工法

工程	品名	使用量(kg/m ²)
1	PW-60プライマー*	0.2
2	サラセーヌEZ	0.8
3	サラセーヌクロス	1.1m
4	サラセーヌEZ	1.5
5	サラセーヌEZ	1.6
6	PJ層間プライマー	0.1
7	FSトップ(2度塗り)	0.5+0.5

※ PJ層間プライマーも使用可能。(使用量0.2kg/m²)

▶ 都市再生機構 保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.5.2 脱気絶縁複合防水工事(ウレタンゴム系 全面修繕1回目)

脱気絶縁部(平場部)の工程

工程	材 料	使用量/m ²
1	接着剤	0.2kg
	プライマー(注)1	0.15kg
2	通気緩衝シート(注)1、2、3	—
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)4	1.5kg
4	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)4	1.5kg
5	層間プライマー	0.1kg
6	無機質系防水保護塗料	1.0kg

- (注) 1 工程1のプライマーは、工程2に自己接着型の通気緩衝シートを使用する場合に用いる。
2 工程2の通気緩衝シートは、ポリマー改質アスファルトシート又はゴムシートとし、合成繊維不織布を使用する場合は、ウレタンゴム系塗膜防水材の塗布量を4.5kg以上とし、塗膜防水材の塗布工程を3工程に分けて塗布する。
3 工程2の通気緩衝シートは、脱気機能を有するものとする。
4 工程3、4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
5 工程6の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

2.5.3 脱気絶縁複合防水工事(ウレタンゴム系 全面修繕2回目以降)

ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様の工程(平場)

工程	材 料	使用量/m ²
1	プライマー	0.2kg
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)1、2	0.3kg
3	補強布	1.1 m
4	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)1、2	1.5kg
5	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)1、2	1.2kg
6	層間プライマー	0.1kg
7	無機質系防水保護塗料(注)3	1.0kg

- (注) 1 工程2、4、5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 ウレタンゴム系塗膜防水材は工程を増やすことができる。
3 工程7の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

庇、架台天端及び立上り部等の工程

工程	材 料	使用量/m ²
1	プライマー	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用)(注)1	0.5kg
3	補強布	1.1m
4	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用)(注)1	1.0kg
5	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用)(注)1	1.0kg
6	層間プライマー	0.1kg
7	無機質系防水保護塗料(注)2	1.0kg

- (注) 1 工程2、4、5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 工程7の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様の工程(庇、架台天端及び立上り部等)

工程	材 料	使用量/m ²
1	プライマー	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用)(注)1、2	0.3kg
3	補強布	1.1 m
4	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用)(注)1、2	0.9kg
5	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用)(注)1、2	0.8kg
6	層間プライマー	0.1kg
7	無機質系防水保護塗料(注)3	1.0kg

- (注) 1 工程2、4、5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 ウレタンゴム系塗膜防水材は工程を増やすことができる。

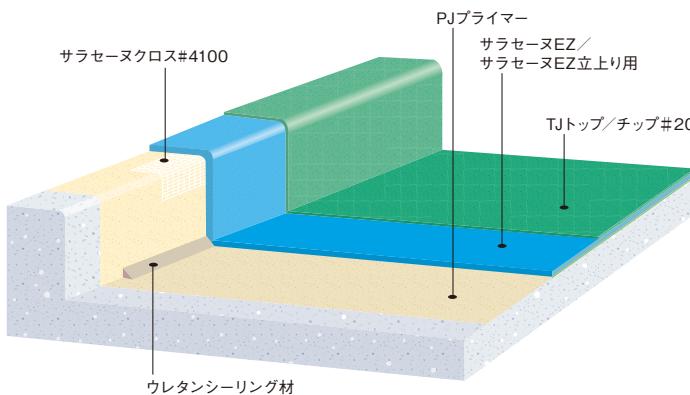
3 工程7の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

バルコニー等床防水工事

環境配慮型

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

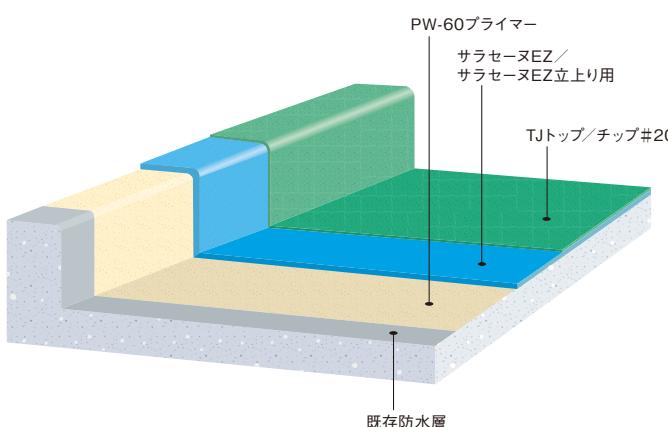
▶ ウレタンゴム系塗膜防水工法 1回目



❖ 防水工法 サラセーヌUR-EZ26工法

工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	PJプライマー	0.15～0.25
2	サラセーヌEZ／ サラセーヌEZ立上り用	2.6
3	TJトップ／チップ#20	0.2

▶ ウレタンゴム系塗膜防水工法 2回目以降



❖ 防水工法 サラセーヌUR-NEZ20工法

工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	PW-60プライマー*	0.1～0.2
2	サラセーヌEZ／ サラセーヌEZ立上り用	2.0
3	TJトップ／チップ#20	0.2

*下地がウレタン防水層の場合は、PJ層間プライマーも使用可能。(使用量0.1～0.2kg/m²)

▶ 都市再生機構 保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.7.2 ウレタンゴム系塗膜防水工法 (全面修繕 1回目)

ウレタンゴム系塗膜防水工法の工程(バルコニー等床)

工程	材 料	使用量 / m ²
1	プライマー	0.15～0.25kg
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)1	2.0kg
3	仕上塗料(注)2,3	0.2kg

(注) 1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である
材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜
厚を確保するように使用量を換算する。

2 工程3の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。

3 工程2の防水材及び工程3の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

2.7.3 ウレタンゴム系塗膜防水工法 (全面修繕 2回目以降)

ウレタンゴム系塗膜防水工法2回目以降の工程(バルコニー等床)

工程	材 料	使用量 / m ²
1	プライマー	0.1～0.2kg
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材(注)1	1.5kg
3	仕上塗料(注)2,3	0.2kg

(注) 1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である
材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜
厚を確保するように使用量を換算する。

2 工程3の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。

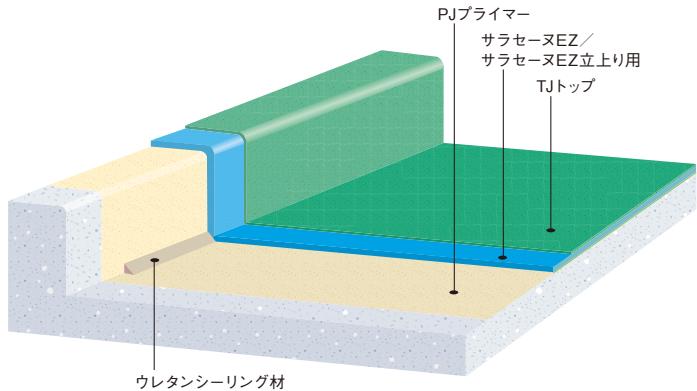
3 工程2の防水材及び工程3の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

屋上架台・庇等防水工事

環境配慮型

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

▶ ウレタンゴム系塗膜防水工法



❖ 防水工法 サラセーヌUR-EZ26工法

工程	品名	使用量 (kg/m ²)
1	PJプライマー	0.15 ~ 0.25
2	サラセーヌEZ / サラセーヌEZ立上り用	2.6
3	TJトップ	0.2

▶ 都市再生機構 保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.8.2 ウレタンゴム系塗膜防水工法

ウレタンゴム系塗膜防水工法の工程(屋上架台・庇等)

工程	材 料	使用量 / m ²
1	プライマー	0.15 ~ 0.25kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1	2.0kg
3	仕上塗料(注)2,3	0.2kg

(注) 1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

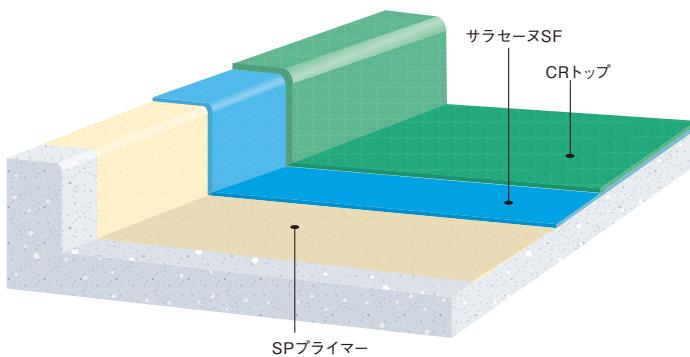
2 仕上塗料への骨材混入の適用は特記によるほか、監督員の指示による。

3 工程2の防水材及び工程3の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

階段室床防水工事

下記の仕様は、保全工事共通仕様書(令和5年版)に準じます。

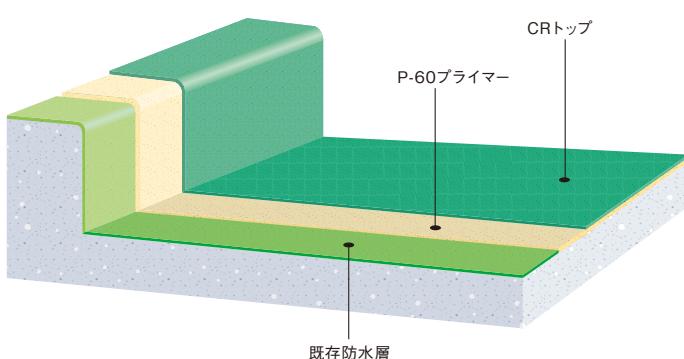
▶ 超速硬化ウレタン吹付工法 1回目



❖ 超速硬化ウレタン吹付工法
サラセーヌSK-15工法

工程	品名	使用量(kg/m ²)
1	SPプライマー	0.15
2	サラセーヌSF	1.5
3	CRトップ	0.15

▶ 超速硬化ウレタン吹付工法 2回目以降(仕上塗料塗替え)



❖ 超速硬化ウレタン吹付工法
サラセーヌSKT-15工法

工程	品名	使用量(kg/m ²)
1	P-60プライマー	0.1 ~ 0.15
2	CRトップ	0.15

▶ 都市再生機構 保全工事共通仕様書(令和5年版)抜粋

2.10.2 超速硬化ウレタン吹付工法(全面修繕 1回目)

超速硬化ウレタン吹付工法の工程

工程	材 料	使用量 / m ²
1	一液性湿気硬化型のウレタンゴム系プライマー 又はエポキシ系プライマー	0.15kg
2	超速硬化ウレタン吹付け材	1.5kg
3	仕上塗料	0.15kg

2.10.3 超速硬化ウレタン吹付工法(全面修繕 2回目以降) (仕上塗料塗替え)

仕上塗料塗り替え工法の工程

工程	材 料	使用量 / m ²
1	一液性湿気硬化型のウレタンゴム系プライマー 又はエポキシ系プライマー	0.1 ~ 0.15kg
2	仕上塗料	0.15kg

▶ 材料一覧／消防法関係

	品名	荷姿	消防法関係		特長・用途
			危険区分	液比重	
プライマー／ボンド	サラセーヌRWボンド	主剤	10kg	非危険物	—
		硬化剤	5kg	非危険物	1.00
	PJプライマー	1成分	16kg	4類1石 (非水溶性)	1.01
	PW-60プライマー	主剤	0.5kg×2	4類2石 (非水溶性)	1.10
		硬化剤	5kg×2	非危険物	1.01
	PJ層間プライマー	1成分	5kg	4類1石 (非水溶性)	1.04
	SPプライマー	1成分	16kg	4類1石 (非水溶性)	0.98
	PE-670プライマー	主剤	8kg	4類2石 (非水溶性)	1.50
		硬化剤	2kg	4類1石 (非水溶性)	1.00
	P-60プライマー	1成分	5kg	4類1石 (非水溶性)	0.89
防水材	サラセーヌEZ	主剤	6kg、8kg、180kg	4類4石	1.03
		硬化剤	12kg、16kg、180kg×2	4類4石	1.60
	サラセーヌEZ立上り用	主剤	8kg	4類4石	1.03
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60
	サラセーヌEZ目止め	主剤	8kg	4類4石	1.03
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60
	サラセーヌSF	主剤	18kg、200kg	4類4石	1.13
		硬化剤	17kg、182kg	4類3石 (非水溶性)	1.06
	サラセーヌSTナー	缶	0.8kg、8kg	4類4石	1.61
保護仕上材	FSトップ	1成分	20kg	非危険物	1.50
	TJトップ	主剤	6kg	4類2石 (非水溶性)	0.99
		硬化剤	9kg	4類2石 (非水溶性)	1.16
	CRトップ	主剤	6kg	4類2石 (非水溶性)	0.95
		硬化剤	9kg	4類2石 (非水溶性)	1.17
副資材	サラセーヌAVシート	幅×長さ	1m×20m	—	表面処理ポリエスチル系通気緩衝シート
	スリットテープ	幅×長さ	50mm×100m	—	AVシート突合せ部処理用テープ
	サラセーヌクロス#4000	幅×長さ	1m×50m	—	補強張り用クロス
	サラセーヌクロス#4100	幅×長さ	100mm×50m	—	補強張り用クロス
	SRステンレスペント	箱	2個	—	脱気装置 (逆流防止弁付き脱気筒)
	サラセーヌSUS304脱気筒	箱	2個	—	脱気装置 (脱気筒)
	SRバラベント	箱	10個	—	脱気装置 (逆流防止弁付き脱気盤)
	サラセーヌ立上り用脱気盤	箱	5枚	—	脱気装置 (立上り用脱気盤)
	HVシート	幅×長さ	1.04m×15m	—	改質アスファルト／ポリエスチルフィルム、自着層付き通気緩衝シート
	ジョイントテープ	幅×長さ	100mm×50m×4巻	—	ガラス繊維織布／ポリエスチルフィルム、HVシートジョイント処理用テープ
	MBテープ100	幅×長さ	100mm×20m×8巻	—	自着層付きブチルゴムテープ、HVシート端末処理用テープ
	チップ#20	箱	0.3kg×4袋	—	粗面仕上材 (TJトップ質量比2%)
	TKパウダー	缶	5kg	—	増粘用添加剤 (サラセーヌEZ質量比5~15%)
	ECO用希釀剤	1成分	16L	4類1石 (非水溶性)	0.77
	ウレタン硬化促進剤EX	1成分	4kg	4類4石	0.99

記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。

AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8 (沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10 (セントールビル) TEL:022-299-6371
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25 (日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3 (高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910
九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10 (第7グリーンビル) TEL:092-431-5154
北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目 (株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120



サラセーヌ公式サイトへはこちらから